

たまたまタイムス Vol.6

海老天たまこの土鈴と張り子

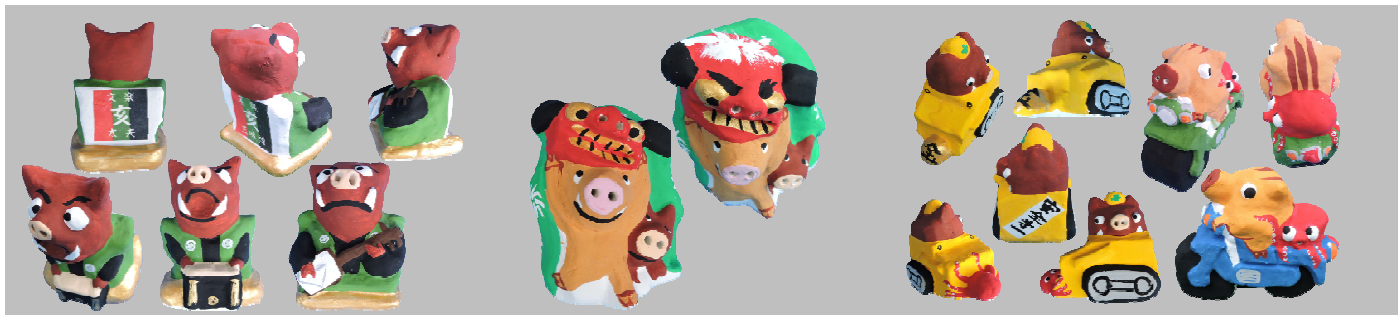


作品はすぐに遊びに行っちゃうんだなあ

背景：薬師寺・白鳳伽藍と平成の水煙

たまたまタイムス第6号をお届けします。今回も新作を中心に土鈴や張り子を紹介します。新たに挑戦した泥面子もあります。お気に入りのものがありましたら是非現物を手に取ってご覧ください。

1)干支(亥)土鈴



文楽の太夫さんと三味線弾きさん

亥の獅子舞

ブルドーザでお宝発掘 バイクで猪突猛进



落語土鈴番外編
落語「こんにやく問答」を演じる亥

落語土鈴番外編
落語「時うどん」を演じる亥

平成最後の年・2019年の干支は己亥(つちのとい)です。平和で穏やかなそして健康的な亥年を願ってこれらの土鈴を作りました。

1)干支(亥)土鈴 続き

正倉院展の土鈴



御物の楽器を演奏する亥

瑠璃杯

記念印葉書土鈴



歯磨き亥

張り子面付き三つ巴亥

ラグビートライとマラソン亥

カップルヌード亥



白鳳瓦に乗った亥
瓦のモデルは大安寺出土

歌舞伎の名作『勧進帳』を演じる亥

亥張り子面かぶり



イノシシがあれば豚があっても良い！
ラグビートライとカップルヌードトシコツ

2)干支(亥)張り子



(亥張り子面
大・中・小)

3) 猫の土鈴

猫侍



勝男武士との一騎打ち

真剣白刃どり



「猫侍」は
にやまの猫祭り2018
出展作品です。

大鯨退治

歌川国芳の浮世絵に「大鯨退治の宮本武蔵」があります。宮本武蔵が猫であればこんな感じになります。荒れ狂う大きなセミクジラに戦いをいどむ猫侍です。

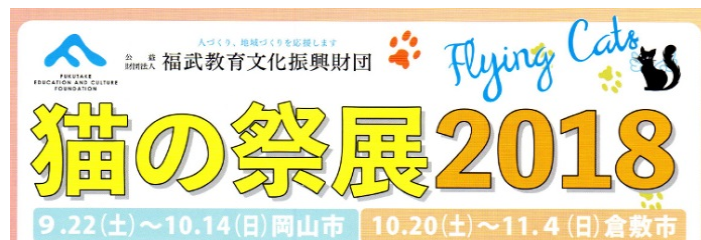
飛行機乗り猫



丸っこい飛燕と飛燕

紅の猫 (大・小)

太っちょゼロ戦とゼロ戦



飛行機乗り猫は「猫の祭展2018」出展作品です。Flying Catsというサブテーマに合わせて猫をパイロットにしてみました。飛行機のプロペラはクルクル回ります。

展示以外にもワークショップで土鈴や張り子の絵付け体験も実施。左のようなハロウィン招き猫も出来上がりました。

4) サクラと雛とタイ



岡山市の「招き猫美術館」にて初個展でした。土鈴も張り子もあります。どの猫も招いています。

序章「山に生まれる」

山奥に仲良しのニャンコが住んでいました。このニャンコ達はとっても長生きでした。やがてニャンコの頭にポツポツと螺髪(らぼつ)のような盛り上がりが出来ました。それは仏様でした。目を見開いた阿のニャンコと、目を閉じた吽のニャンコでした。



張り子 螺髪猫 (螺髪は土鈴です)

あるポカポカと暖かい日のことでした。頭の螺髪が膨らんでピンクになりました。螺髪が開いて桜の花になりました。



抱き雛招き猫土鈴



並び雛招き猫土鈴

桜は次々に咲いては川に流れていきました。咲いては流れ咲いては流れ、どんどん咲いてはどんどん流れていきました。仲良しニャンコの花は仲良く引っ付きながら流れました。どんどん流れていきました。



桜に乗った雛招き猫土鈴 桜花、花びらも土鈴です

第2章「里で生きる」 山から里に下りると列車も走っています。



お召列車のSL C581に乗った招き猫雛



(上段) ゼロ系新幹線に乗ったペア招き猫
(下段) お召列車のゼロ系新幹線に乗った招き猫雛 (三両編成)

最終章「海に向かう」

山や谷や里を越えて行きました。やがて海に流れ着くころ、不思議なことに桜の花は魚になっていました。山しか知らなかったニャンコの桜は海で自由に跳び跳ねました。



張り子 スキップ猫 張り子 振袖猫
張り子ですが、中に土鈴を入れて振ればコロコロ音が鳴ります。

4) サクラと雛とタイ 続き



首が回る鯛乗り招き猫土鈴
頭と胴体は別々の土鈴です。



大型張り子 鯛乗り招き猫 蛸乗り招き猫
胡粉仕上げと和紙貼り仕上げがあります。



特大張り子 福々招く福猫娘 高さ約60cm



会場展示風景



実写版でポストカードも作りました。
大安寺八幡宮参道にて撮影

サクラと雛とタイ



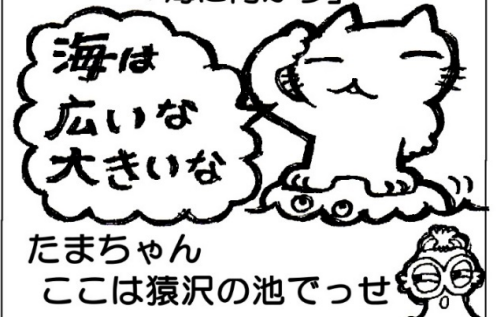
個展と知らず、あわてたろ



困って仲間の張り子型を
借りたんやったねえ~



たまちゃん最終章・・・
「海に向かう」



たまちゃん
ここは猿沢の池でっせ

5) 泥面子と泥面子土鈴

泥面子(どろめんこ・おはじき)とは粘土を型で抜いてから焼き上げ、絵付けしたものです。紙のメンコ(関西ではベッタン)も現代では殆ど見掛けられませんがそのルーツとも言える存在です。割れ物ですので紙メンコのような「起こし遊び」には適しません。同じ型で土鈴も作りました。



お目出度い泥面子



噺家定紋泥面子

日本の妖怪色々

6) 妖怪土鈴と張り子

上の泥面子にも妖怪がありますが他にも色々妖怪を作っています。



天王寺動物園で開催された「動物妖怪ランド2に参加しました。妖怪土鈴の絵付けワークショップで色々な妖怪が出来上がりました。



岡山で開催されたアート&クラフト「ハイツ@夏フェス」に参加しました。ハロウィンを楽しむために妖怪等のミニ張り子面に絵付けをしました。

7) 野田末吉型復元土鈴



立ちイノシシ

走りイノシシ

型

名古屋土人形・野田末吉さんの型を入手し、土鈴として復元しました。形は元のままですが彩色は新しく作ったオリジナルです。

名古屋土人形は一説には、明治4年(1871)の廃藩により武家の身分を失った旧士族が、熱田神宮の祭祀用土器の窯場であった御器所(ごきそ)村(現・名古屋市昭和区)で京都伏見人形の製法にならって作り出したのが始まりとされています。野田家は明治15.6年頃から土人形作りに携わり、野田末吉さんも父・重成さんの跡をついで人形製作者になりました。

名古屋土人形は明治中頃最も盛んに作られ、野田家以外に十数軒の製作者がいたそうですが、多くの作品を戦争の空爆で失い、戦後は野田家だけになってしまったようです。

最後の伝承者野田末吉さんが平成元年(1989年)9月12日に86歳で亡くなったことにより廃絶となりました。野田さんの作品は意匠や色彩が素晴らしく、手のひらに収まるほどの小ささながらも表情豊かで今でも愛好家の間で大変人気があります。

野田末吉さんは玩弄庵基水(がんろうあん・きすい)と称し、土鈴には「基水」の銘が入れられたものもあります。

★立ちイノシシや羊の足の型の作り方は勉強になるなあ～★



羊乗り辨天

8) 天神様土鈴



合格天神土鈴

絵馬天神土鈴

依頼をいただき天神様の土鈴を試作しました。

天神祭の背景には花火と榊を描いています。

與喜天満宮は長谷寺と関係が深く、初瀬川に架かっている「連歌橋」は、天満宮の連歌会に長谷寺の僧が参加した時に渡る橋です。



合格與喜天満宮
連歌橋土鈴と

9) 記念土鈴



第25回日本土鈴館友の会を記念して作成しました。

10) 第2回箱入り娘の会



「たまたまタイムス vol.3 Page6」でも箱入り娘の会の土鈴をご紹介しましたが今回は第2回です。「私の好きなうた」をテーマに12種類の土鈴が完成しました。海老天たまこ以外の作者のものも含まれています。

- ① ももし亀よ
- ② 鐘の鳴る丘
- ③ 君が代
- ④ 静かな湖畔
- ⑤ 大きな古時計
- ⑥ もみじ
- ⑦ 津軽海峡冬景色
- ⑧ We are the world
- ⑨ デュークエイセスメドレー
- ⑩ 下駄の出でくる歌
- ⑪ かごめかごめ
- ⑫ ひよっこりひょうたん島

海老天たまこの作品は②、⑪、⑫です。

11) 落語土鈴



地獄八景亡者の戯れ

手水廻し

こんにやく問答

片棒

これまでの作品は『看板のピン、あたま山、牛ほめ、鷺取り、池田の猪買い、蛇含草、蛸芝居、首提灯、高津の富、鬼の面、猫の災難、猫の茶碗、猫の忠信、死神、天神山、馬の田楽、時うどん、蔵丁稚、寿限無、饅頭怖い、鼻ねじ、犬の目、七度狐、始末の極意、不動坊、目薬、住吉駕籠、猿後家、いたりきたり、狸賽、動物園、天狗裁き、べかこ、ろくろ首、京の茶漬け、くっしやみ講釈、血屋敷、つる、癩の合薬、代書、崇徳院』です。

お気に入りの演目はありますか？「こんなの欲しい。」「この演目が好き！」、その他ご意見ご感想等がありましたらお知らせください。

12) 作者紹介

海老天たまこ 岡山県倉敷市出身、現在、奈良県奈良市在住
備中張り子倶楽部所属、神戸土鈴友の会会員

岡山や奈良を題材にしたもの、猫・饅頭喰い・妖怪のキャラクタ、古事記、神話、古典落語をテーマにしたもの等、ユニークな視点で土鈴や張り子の創作を進めています。

海老天たまこ 土鈴

検索



作品の一部はホームページでも公開されています。このカタログに掲載されていない作品もたくさん紹介していますので是非パソコンでご覧ください。

(URLはこちらです。 <http://from-yamato.sakura.ne.jp/tama/index.html> 掲示板もあります。URLは前号から変わっていますのでご注意ください。)

「こんなの欲しい。」「この作品が好き！」、その他ご意見ご感想等がありましたらメールまたは掲示板への書き込みにてご連絡下さい。

お問い合わせは 〒630-8144 奈良市東九条町1129の3 吉田 満 まで